

## 令和7年度公衆衛生活動対策専門委員会

- 日 時 令和8年1月22日(木) 午後2時～午後2時45分
- 場 所 Web会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町  
鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町  
鳥取県西部医師会館 米子市久米町
- 出席者 17人  
〈鳥取県健康会館〉  
清水健対協会長、岡田・加藤・山本・米本各委員  
岡本事務局長、井上・廣瀬両主事  
〈中部医師会館〉福嶋・池山両委員  
〈西部医師会館〉辻田委員長、能勢委員  
〈オンライン〉深田・佐々木・千酌・尾崎・川本各委員

## 挨拶（要旨）

〈清水会長〉

悪天候の中、鳥取県健康対策協議会公衆衛生活動対策専門委員会への出席に感謝し、日頃の公衆衛生向上への尽力に謝意を表す。少子高齢化や生活習慣病、感染症対応など課題が多様化・複雑化する中、行政と医師会等の連携、地域に根ざした医師会活動の重要性は一層高まっている。本委員会では活動状況を共有し、専門的・実践的意見を通じて公衆衛生活動の充実と質の向上を図り、活発な議論を期待する。

## 報 告

## 1. 令和6年度事業報告及び令和7年度事業中間報告

(1)健康教育事業：辻田委員長より説明

①日本海新聞健康コラム「保健の窓」は公開健康講座の講演内容について掲載しており、令和6年度は計12回掲載した。令和7年度は1月までに公開健康講座を10回開催し、「保健の窓」も

1月末までに10回掲載している。

②日本海新聞健康コラム「健康相談室鳥取県医師会Q&A」を、令和6年度は24回、令和7年度は12月末現在18回掲載した。

一般の方から疾病に関する質問を受け付け、それに対する回答を掲載している。

③鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー

令和6年度は計12回開催した。なお、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については、鳥取県医師会公開健康講座のうち7回を生活習慣病セミナーにあて、中部地区で1回、西部地区で3回、同様のセミナーを開催した。よって年11回開催であった。

令和7年度は令和8年1月までに10回開催した。生活習慣病対策セミナーについては令和7年度も7回をあてている。地区医師会では令和8年1月までに、東部・中部・西部医師会でそれぞれ2回開催している。

(2)地域保健対策

候補はあったが研究の段階が当てはまらないた

め、他の新たな研究を検討中である。

### (3)生活習慣病対策事業

#### ①地区における健康教育

##### 〈東部医師会〉

1. 東部医師会健康スポーツ講演会を令和6年度は令和7年3月12日に、令和7年度は令和7年6月25日に開催した。
2. 各会員による健康教育講演を令和6年度は30回、令和7年度は12月までに25回行った。公民館、小学校、中学校、保健センターを会場として開催されている。例年のところであるが、講師に偏りが見られる。

##### 〈中部医師会〉

1. 「住民健康フォーラム」について、令和6年度は9月1日に予定していたが、台風の影響により中止となった。令和7年度は8月31日に谷口病院皮膚科の増地先生に帯状疱疹ワクチンについて、藤井政雄記念病院脳神経外科の藤井先生に認知症予防と治療について、三朝温泉病院管理栄養士の福市民にフレイル予防についてご講演いただいた。
2. 会員による健康教育講演を令和6年度は41回、令和7年度は12月までに10回行った。令和6年度はがんや動脈硬化、令和7年度は糖尿病や認知症フレイルの話が多く、学校では薬物やたばこの依存症の話を中心に行っている。

##### 〈西部医師会〉

1. 健康教育講座を地域の公民館などで令和6年度は26回、令和7年度は21回行った。
2. 毎月第3木曜日に米子市文化ホールで開催している「一般公開健康講座」は令和6年に11回、令和7年度は12月までに9回開催した。

3. 会員による健康教育講演を令和6年度は17回行った。

4. 中海テレビで医師の出演による「健康プラザ(5分番組)」が毎月放映されている。

#### ②健康医療相談

鳥取県健康会館において、面談による健康医療相談を毎月第1～4木曜日に行っている。第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科で実施している。令和6年度は計27件、令和7年度は12月末までに計22件の相談があった。

## 2. 令和8年度事業計画(案)

### (1)健康教育事業

- ①日本海新聞健康コラム「保健の窓」を年間12回掲載続行予定。
- ②日本海新聞健康コラム「健康相談室鳥取県医師会Q&A」を木曜日(月2回)に掲載継続予定。
- ③鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナーの継続開催。

### (2)地域保健対策

他の部会に当てはまらない研究等を検討していく。

### (3)生活習慣病対策事業

地区医師会の健康教育、健康医療相談を継続実施。

#### 〈質疑・意見〉

・フレイルという言葉を目にする機会が増えていくが、定義が曖昧である。医師会が定義を決めてはどうか。

⇒その予定はない。学会では定義されていることもある。フレイル対策については今後、検討していく。